

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------|--------|----------------|
| 建物名称 | 六会中学校屋内運動場建設工事 | 階数 | 地上2F |
| 建設地 | 藤沢市亀井野字西谷941-1他 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 第一種低層住居専用地域 | 平均居住人員 | 830人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 2,920時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 集会所 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2020年1月 予定 | 評価の実施日 | 2018年5月15日 |
| 敷地面積 | 4,457㎡ | 作成者 | (株)エネ・グリーン |
| 建築面積 | 1,528㎡ | 確認日 | 2018年5月16日 |
| 延床面積 | 2,949㎡ | 確認者 | (株)エネ・グリーン |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.1

| Q1 室内環境 | Q2 サービス性能 | Q3 室外環境(敷地内) |
|-------------|--------------|----------------|
| 音環境: 2.6 | 機能性: 3.1 | 生物環境: 2.0 |
| 温熱環境: 2.7 | 耐用性・信頼性: 3.1 | まちなみ・景観: 4.0 |
| 光・視環境: N.A. | 対応性・更新性: 3.6 | 地域性・アメニティ: 3.0 |
| 空気質環境: 3.9 | | |

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.7

| LR1 エネルギー | LR2 資源・マテリアル | LR3 敷地外環境 |
|---------------------|-----------------|----------------|
| 建物外皮の熱負荷: 5.0 | 水資源保護: 3.0 | 地球温暖化への配慮: 3.9 |
| 自然エネルギー: 3.0 | 非再生材料の使用削減: 3.4 | 地域環境への配慮: 3.0 |
| 設備システム効率化効率的運用: 4.8 | 汚染物質回避: 3.3 | 周辺環境への配慮: 3.2 |

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|--|--|
| 総合 | その他 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 生徒が安全で、快適に学習、運動の出来る施設であるよう配慮している。 緑に囲まれた施設であり、エネルギー消費の節約、省力化を考慮した施設であるよう、配慮している。 | | |
| Q1 室内環境 ・室温設定に配慮している。 ・内装材にはF☆☆☆☆又は規制対象外品を採用し、空気環境に配慮している。 ・校内禁煙としている。 | Q2 サービス性能 ・防汚性の高い建材を採用している。・耐用年数の長い給排水管を採用している。・設備耐震クラスに配慮している。・壁長さ比率を確保し、空間のゆとりに配慮している。 | Q3 室外環境(敷地内) ・緑地、樹木を設けている。 ・景観事前協議を満たし、既存樹木の利用等、景観への配慮を行っている。 |
| LR1 エネルギー ・LED照明等の高効率設備機器を採用し、設備システムの効率化に努めている。 | LR2 資源・マテリアル ・リサイクル材を活用している。 ・防水工事のプライマー採用等、化学物質の使用削減に努めている。 | LR3 敷地外環境 ・チェックリストの過半を満たし、広告物照明の設置無し等、光害の抑制に努めている。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される